

取 組 名	危機に対応する主体的態度・自助行動の育成		
特 徴	事前に日時等を告げない避難訓練と振り返り、シェイクアウト訓練		
学 校 名	県立響高等学校	期 日	平成30年10月16日(火) 11月1日(木)

### 1 ねらい

事前に日時・場所等を告げない避難訓練を実施し、生徒に避難経路を考えさせるとともに、訓練終了後に自らの行動に対する「振り返り」を行うことで、今後の的確な思考・判断を伴った自助行動につなげる。

また、「津波防災の日」の一環として11月1日(木)に実施された緊急地震速報訓練にあわせた「シェイクアウト訓練」を実施して、地震の際の生徒・教職員の安全確保行動・危機対応力を身に付ける。

### 2 概 要

#### (1) 事前に日時等を告げない避難訓練

- ・生徒及び教職員には、10月15日(月)からの週に火災避難訓練を行うことだけを通達した。
- ・訓練実施は2学期中間考査最終日(10月16日(火))、出火場所は化学教室とした。
- ・火災報知ベルを鳴らし、出火場所を事務職員が確認する訓練後、グラウンドへの避難の指示を放送した。
- ・避難完了後に、校長が「命を守る訓練である」など、訓練の意義や重要性を話した。
- ・講評後、生徒は教室にもどり、シートをもとに振り返りを行った。

#### (2) シェイクアウト訓練

- ・生徒には10月29日(月)からの週に地震対応訓練を行うことだけを通達した。
- ・地震が起きた場合は、安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を、啓発チラシにより担任から生徒に事前周知した。
- ・訓練では、緊急地震速報のチャイム音に続けて安全確保行動の指示を放送した。
- ・指示に従い、生徒・教員・事務職員全員が机の下に頭を隠した。
- ・揺れが収まるまで(約1分間)じっと待った。
- ・訓練終了後に、シェイクアウト訓練のねらい、日頃からいざというときの行動を考えておくことを、教頭が放送で話して終了した。

### 3 成果と今後の課題等

本校では初めてとなる「事前に日時等を告げない避難訓練」を短期間で2回行った。

終了後の「振り返り」によると、火災避難訓練では、今後も事前周知しない訓練が必要であることや自ら判断した避難経路に対する反省などが見られ、自助行動の意識向上に効果的であった。

シェイクアウト訓練は、地震の被害がニュース等で報道されていることで身近な災害との認識に加えて、訓練が短時間であったため、生徒の行動はよかった。地震や大雨の被害が日本各地で起こっている今日、生徒の災害に関する意識向上になれば幸いである。

ここ数年、地元消防署を呼んで1時間かけての避難訓練を年に2~3回行っているが、今回のシェイクアウト訓練であれば、各学期に1回の頻度で行うことも可能である。



教室での安全確保行動



安全確保行動は事務室でも！